

5枠9番ベルルミエールから馬連総流し

今年もまたG1レースで1回も人気馬を買わずにきているが、結果が気になったので、一覧にしてみた。以下が今年のG1レースの結果だ。

フェブラリーステークス コパノリッキー（武豊）1番人気

高松宮杯 エアロヴェロシティ（バートン）4番人気

桜花賞 レッゴードンキ（岩田）5番人気

皐月賞 ドゥラメンテ（デムーロ）3番人気

天皇賞 ゴールドシップ（横山典）2番人気

NHKマイル クラリティスカイ（横山典）3番人気

6レースあって、1番人気が勝ったのはフェブラリーステークスのコパノリッキー（武豊）だけ。残りは5番人気以内が制しているが、1番人気は来ていない。

となると、今回も1番人気を含めた5番人気以内の人気馬が来るだろう。こう結論するのが、一般のプレーヤーではないだろうか。しかも、今回はヌーヴォレコルトという、ほぼ絶対馬がいるので、「そろそろ1番人気が来るだろう」と、多分、この馬から誰もが馬券を買うはずだ。

当然だが、ヌーヴォレコルトは来るだろう。こんなデータがなくとも、その実力からみて、ほぼ間違いなく来る。1番人気馬として堂々と勝つはずだと、私も思う。勝たなくとも、3着以下に落ちることはないだろう。

しかし、だからこそ買わないのが、私が実践していることだ。

G1で6連敗したなら、7連敗目を目指して馬券を買う。これが私としての“正しい買い方”である。ここでヌーヴォレコルトを買って当ててしまっただけではいけない。なぜなら、ここで示したデータは、今年のG1レースの馬券傾向という、じつはどうでもいいデータだからだ。レースは一つ一つ独立しており、本来なんの関連性もない。ただ、人間の勝手な都合で何番人が勝っているだろうかと、データにして見せただけである。

前6回と同じように7回目もなると考えるほうがおかしい。

というわけで、買うのはベルルミエール。

この馬1頭のみが前回2着馬である。前回1着馬が6頭いて、ヌーヴォレコルトもその1頭。それだけが、上位人気になるなかで、前回

2着馬はそれほど評価されていない。

2着というのは、スポーツではあまり評価されない。常に勝利を追い求めたF1の貴公子、故アイルトン・セナは

2

着を評価しなかった。彼は「
2
着は負け組みのトップ」と言って嫌っていた。

よって、5枠9番ベルルミエールから馬連総流し。5枠からの枠連総流しも。